

メルマガ全部協プライムニュース

2018 年 8 月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

※配信データ容量を抑えるために、添付資料(付録など)は一部を除き、記事中に記載の URL からダウンロードにより配信しています。お手数をおかけしますが、各 URL からダウンロードしてご確認ください。

1. 全部協活動報告

- 1)「第 20 回経営組織委員会」を開催
- 2)「第 24 回事業運営委員会」を開催
- 3)臨時事業運営委員会を開催
- 4)「第 38 回定例理事会」で今後の事業方針等を協議

2. 支部・ブロック協議会活動報告

- 1)東北ブロックが実務者研修会

3. 統計情報

自動車販売統計
整備工場統計

4. 事務局からのお知らせ

- 1) 福岡で地方理事会開催(10月)
- 2) 社名・代表者名等変更の際は早急にお知らせください
- 3) 米国 CES 視察ツアーへの参加者を募集します
- 4) 次回オートサービスショーの概要発表
- 5) 「平成 29 年度自動車機械工具販売実績」
- 6) 日整連がエーミング研修会実施を検討
- 7) 9 月は「平成 30 年度自動車点検整備推進運動」強化月間です
- 8) スキャンツール導入補助の公募開始

5. 組合員異動報告

6. 全部協会議・活動日程

7. メルマガ配信アドレス登録のお願い

8. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Tool モール」利用の Q&A
- 2) メルマガ添付版: デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) ビジネスレポート
- 4) リパーツダイレクトの広告
- 5) その他の広告リンク
・ショーワグローブ株式会社

・レックスコムジャパン株式会社
「Partslink24」トライアルライセンス(3ヵ月間)申請方法

1 | 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1)「第20回経営組織委員会」を開催

全部協は7月18日に「第20回経営組織委員会」を開催しました。
正副理事長会議の報告や役員等の役割について再確認したほか、三菱ふそうトラック・バスとの懇談会について報告しました。
また8月2日の定例理事会での議題について協議しました。

2)「第24回事業運営委員会」を開催

7月19日に「第24回事業運営委員会」を開催しました。
「ZEN-bukyo モール」および「ZEN-bukyo Tool モール」、ETC
セットアップなどの事業活動について、組合員の参加促進をはじめとした今後の進め方や課題点などを協議しました。
また、海外車部品の電子カタログシステム「Partslink24」を販売するレックスコムジャパン(株)によるプレゼンテーションが行われました。

3)臨時事業運営委員会を開催

8月1日に臨時事業委員会を開き「ZEN-bukyo Tool モール」の請求処理に関する諸課題について提携事業者と協議しました。

4)「第38回定例理事会」で今後の事業方針等を協議

8月2日、都内の全国商工会連合会内会議室で定例理事会を開催しました。7月に開いた正副理事長会議、経営組織委員会、事業運営委員会について報告したほか、全部協の事業活動方針等について協議しました。

今後の事業活動方針としては、卸商社をはじめとした賛助会員らとの協力関係強化を重要課題とし、共同購買事業の取扱商品についても賛助会員に配慮した商品構成とするよう見直しを図っていきます。

また全部協の活動や事業方針を組合員各社に確実に周知するため、各理事に対しては理事会・委員会での決定事項等を地域の組合員へ速やかに報告することを求めていくこととします。

また新たに賛助会員2社の加入が承認されました。

2 | 支部・ブロック協議会活動報告

1) 東北ブロックが実務者研修会

全部協東北ブロックは7月27日、仙台市で実務者研修会を開きました。宮城、福島、山形、青森、岩手、秋田の東北6県から組合員が参加し、「ZEN-bukyo モール」および「ZEN-bukyo Tool モール」による共同販売事業、ETC 車載器セットアップ事業等、全部協の事業活動について事業委員から説明を行いました。

| 3 | 統計情報

国交省統計 URL 更新済

認証・指定工場数及び新規・廃止状況(速報)

<http://www.mlit.go.jp/common/001242241.pdf>

優良認定工場数(速報)

<http://www.mlit.go.jp/common/001242242.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2018年7月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

2018年7月軽四輪車新車販売台数速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/4soku>

| 4 | 事務局からのお知らせ

1)福岡で地方理事会開催(10月)

全部協は10月11日に福岡市博多区の八仙閣で地方理事会を開催します。

今回の地方理事会では、福岡県をはじめとした近隣地域の一般組合員への参加も呼びかける予定です。

2)社名・代表者等変更の際は早めにお知らせください

組合員・賛助会員において、社名や住所、代表者名等に変更のある場合

は事前に事務局までお知らせください。

連絡がない場合、全部協からの連絡が滞るだけでなく、団体保険の申請・更新をはじめとした各種手続きに支障が生じる恐れがあります。

各地域の支部や組合だけでなく、直接事務局まで変更のご連絡をお願いいたします。

3) 米国 CES 視察ツアーへの参加者を募集します

オートアフターマーケット活性化連合(AAAL)は、来年1月に米国への視察ツアーを計画し、アフターマーケット関係企業を対象に参加者を募集しています。

ツアーは2019年1月8日から13日の6日間、ラスベガスで開かれる家電見本市「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー(CES)」および西海岸の流通関連施設を視察します。

全部協では組合員各社に対し事務局から募集案内を送付します。問い合わせや参加申し込みは旅行会社へ直接お願いいたします。

4) 次回オートサービスショーの概要発表

来年6月に開催予定の「第36回オートサービスショー2019」概要を、主催の日本自動車機械工具協会(機工協)が発表しました。

「第36回オートサービスショー2019」は、2019年5月16日から18日の3日間、「次世代へ 変わるクルマと自動車整備」をテーマに開催します。東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い2019年4月から東京ビッグサイトが利用できなくなるため、仮施設となる青海展示場での開催となります。

機工協の柳田昌宏会長は、「会場の変更により来場者の混乱が予想されるなど若干厳しい状況での開催となるが、車の変化に沿った新しい展示を増やし前向きに取り組んでいきたい」と語っています。

5) 「平成29年度自動車機械工具販売実績」

日本自動車機械工具協会(機工協)は、「平成29年度自動車機械工具販売実績」を発表しました。総売上金額は対前年度比0.6%増の1068億円です。

品目別にみると、特に洗車洗浄装置やバッテリー・クーラーサービス機器、ガレージ用一般機器が過去 10 年で最高金額を記録しました。

全体の売上金額は 25 年度から 5 年連続で 1 千億円を超えており、安定して推移しています。

今年度の大きな特長として、大型車ディーラー等で設備投資が好調となっている影響で、大型車関連機器の売上金額が伸びています。またスキャンツールの売上金額も伸びていますが、これは導入補助制度の影響に加え、エーミングに不可欠との認識が広まったことで導入する事業場が増えたことが影響しているとみられます。購入単価も上昇しており、エーミングに対応した機種への買い替えや追加導入が進んでいることが推測されます。スキャンツール本体だけでなく診断ソフトの売上も伸びており、同じくエーミングに対応したソフトへの入れ替えが進んでいることが要因とみられます。一方で、ハンドツールは対前年度比 95・3%と大幅に減少しました。背景にはネット販売の普及があるとみられ、機工協は「ツール類など簡単な商品の需要がネット販売にシフトしていることも考えられる。協会全体として危惧する状況」として今後の動向を慎重に見守っていくとしています。

6) 日整連がエーミング研修会実施を検討

日本自動車整備振興会連合会(日整連)は、スキャンツールを活用したエーミングの研修会実施を検討していることを明らかにしました。

日整連は、スキャンツール活用を目的としたスキャンツール活用研修(基本研修、応用研修等)を平成 24 年度から継続実施していますが、整備高度化へのさらなる対応として今後はエーミングの研修も必要との方針を示しています。

まずは指導員向けの研修を年内にも実施したい考えで、スキャンツールメーカーの協力のもとスケジュールの調整を行っています。

7) 9 月は「平成 30 年度自動車点検整備推進運動」強化月間です

国土交通省と自動車関連 31 団体で構成した「自動車点検整備推進協議会」が展開する「平成 30 年度自動車点検整備推進運動」は、9 月 1 日から 30 日までを全国統一の強化月間として、ポスター・チラシ等を活用し点検整備の重要性について啓発活動を行います。

全部協からも組合員各社等へポスターやチラシ、関連資料をお送りいたしますので、関係各所への周知などご協力をお願いいたします。

8) スキャンツール導入補助の公募開始

国土交通省は、スキャンツールの導入補助申請の公募を7月24日から開始しました(10月31日まで)。自動車分解整備事業者等を対象に、一定の要件を満たすスキャンツールを新たに導入する際の経費の一部を補助します。補助対象となった事業場には、20台以上の車両にスキャンツールを使用し診断データ等を報告することが求められます。

5 | 組合員異動報告

- 1) このほど賛助会員として、村上バッテリー株式会社、イクイップ株式会社の2社が加入しました。
- 2) 南前村部品商会(宮崎県)は5月11日付で「有限会社高原自動車商会」に社名変更しました。
- 3) 賛助会員の東海自動車(株)は、8月1日付で社名を変更し、「株式会社 TOKAI」となりました。
- 4) 賛助会員の S&E ブレーキ(株)は、8月1日付で「株式会社アドヴィックスセールス」へ社名変更しました。

6 | 全部協会議・活動日程【PDF】

全部協議・活動日程につきましては、
添付の PDF データ「平成 30 年度会議・活動日程.pdf」を
ご覧下さい。

「
| 7 | メルマガ配信アドレス登録のお願い
」

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員
関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

配信のご希望がございましたら、全部協ホームページからメルマガの
配信登録をお願い致します。

http://zenbukyo.or.jp/mail_form2.html

組合員と賛助会員以外の皆さまの場合は、事務局にて確認の上
配信の取り計らいをさせていただきます。

「
| 8 | 付録
」

1)「ZEN-bukyoTool モール」利用の Q&A【PDF】

添付の PDF データ「18_08_ZENbukyotoolmool_FQA.pdf」をご覧下さい。

2)デッドストック品掲載ガイドライン【PDF】

添付の PDF データ「18_08_dspguidelines.pdf」をご覧下さい。

3)「ビジネスレポート」【PDF】

添付の PDF データ「09_03_businessreport.pdf」をご覧下さい。

4)「リパーツダイレクト」広告【PDF】

添付の PDF データ「18_08_bwr.pdf」をご覧下さい。

5)その他の広告リンク

・ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

・レックスコムジャパン株式会社

「Partslink24」トライアルライセンス(3 ヶ月間)申請方法

<http://www.lexcom.co.jp/files/trial-for-ZEN-ERIC.pdf>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒110-0005 東京都台東区上野 7-12-13 協和ビル5階

TEL:03-5830-2566 FAX:03-5830-2567

E-mail:jimukyoku@zenbukyo.or.jp

Copyright(C) 全部協事務局